

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書


- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立桶川西高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	1, 2年生 生徒351名対象
3 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名 ()</p> <p>② 行事名 (オリパラ教育推進事業に係る講演会)</p> <p>③ その他 ()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名 ()</p> <p>② その他 ()</p>
4 目標 （ねらい）	<p>オリンピック・パラリンピック教育推進事業推進校として、陸上競技（ハンマー投げ）の競技実績と指導経験を豊富に持つ方を講師としてお招きし、これまでの苦労や取組の様子について講演をしていただく。本校生徒へは、成功体験を直接聞くことにより、日々の活力となるように心の醸成を図る。</p>
5 取組内容	<p>(1) 実施日時 令和3年1月28日（木）</p> <p>【2年生】13：20～講演会及び感想記入</p> <p>【1年生】14：20～講演会及び感想記入</p> <p>(2) 講師</p> <p>高橋 直之 氏（県立進修館高等学校教諭、生徒指導主任）</p> <p>経歴 平成元年度高知インターハイ 4位</p> <p>「はまなす国体」 少年A男子ハンマー投 4位</p> <p>日本選手権大会 ハンマー投 出場</p> <p>第47回全日本実業団陸上競技大会 5位</p> <p>平成27年「はつらつ先生」</p> <p>U20オリンピック 強化スタッフ 投擲主任</p> <p>(3) 演題</p> <p>「オリパラ教育推進事業に係る講演会」</p> <p>(4) 内容</p> <p>【講演】</p> <p>講師作成のパワーポイント資料を投影し、これまでの経験や、指導の実際、これまでに講師自身に影響を</p>



	 <p>与えてくれた関係者の紹介を行い、エピソードにも触れていた。 海外への遠征経験や指導者としての職場での経験も含めながら、生徒たちに心の作り方や、モチベーションの保ち方を含めてアドバイスをいただいた。</p> <p>【感想記入】 講演会后、生徒は各ホームルームに戻り、感想票の記入を行った。感想票は各クラス数名のものを、後日、講師に送付させていただいた。</p>
6 主な成果	<p>スポーツに対して真摯に取り組み、選手育成について熱心な姿勢を持つ講師からの講演は、大変貴重なもので、成功体験の少ない生徒にとっては、大変貴重な機会となった。</p> <p>また、教職についてからの陸上競技への関わりや指導してきた選手の話など、生徒には大きく影響を与えてくださるものであった。講師本人が、教育活動に就いてから、生徒には『どう成長してほしいか』また、『日頃からどういう姿勢でいるべきか』など、モットーとしていることも踏まえ、人生の糧となる内容を伝えていただいた。</p> <p>生徒の感想は、前向きにとらえられた内容がほとんどであった。この内容については、感想の枚数の関係もありすべてをお渡しすることはできなかったが、講演の総評として数枚をお渡しした。講師も大変喜び、今回の講演には満足されていた。</p> <p>【感想の代表的なものは次のとおり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話を聞いて、ハンマー投げについて身近に感じることができた。これから興味を持って見ることができる。 (2年女子) ・モチベーションの高め方や保ち方を聞き、気持ちをしっかり持って、前向きに努力することを学べた。 (1年男子) ・「やればできる」と信じてこれから取り組んでいきたい。 (1年女子)
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<p>今回の講演については、以下の対応を行い実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技(ハンマー投げ)を身近に感じてもらうため、実物を持参していただいた。 ・講演を行うにあたり、冒頭に陸上競技(ハンマー投げ)についての質問を行った。 ・コロナ禍における密を避けるため、講演を学年ごとに時間を違えて設定し、2度お話しいただいた。 ・講演を拝聴するにあたり、記入できる参考の資料を配付し、メモを取りながら実施した。
8 主な課題等	<p>年度当初、講師の選定及び依頼について、計画を立案することに難航した。講師の選定以降は、立案について円滑に行え、実施へとたどり着くことができた。</p>
9 来年度以降の実施予定	<p>現在のところ予定は在りません。</p>

